

用途制限について

- 本製品は、人の生命に直接関わる装置*1や人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置*2に使用するよう設計・製造されたものではないため、それらの装置に本製品を使用しないでください。
 - *1: 生命維持装置や手術室用機器などの医療機器や、火災報知器などの防災設備など。
 - *2: 集団輸送システムの運転制御・航空管制システムや原子力発電所の装置など。
- 本製品は電力管理用計器であり、電力料金の取引には使用できません。

免責事項

- 地震などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能あるいは設定の誤りから生ずる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書(注1)で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

安全上のご注意

本説明書には、お使いになる方(工事される方)や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しております。
 次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明	図記号の説明
<p>警告 左の表示は“誤った取扱いをすると人が死亡する、または重症を負う可能性のあること”を示します。</p> <p>注意 左の表示は“誤った取扱いをすると人が傷害*1を負う可能性、または物的損害*2のみが発生する可能性のあること”を示します。</p>	<p>左の図は禁止(してはいけないことを)を示します。</p> <p>左の図は強制(必ずすること)を示します。</p>

*1: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・火傷・感電をさします。
 *2: 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

警告	注意
<p>分解禁止 本装置を分解・改造・修理しない。感電・火災・けがの原因となります。修理は購入先へご連絡ください。</p>	<p>禁止 定格電圧を超える電源に接続しない。感電・火災の原因となります。AC85V～AC264V(50/60Hz)でご使用ください。</p>
<p>水濡れ禁止 屋外や、水のかかる場所には設置しない。感電・火災の原因となります。</p>	<p>禁止 インバータの二次側など定格商用周波数以外での使用はしない。火災・故障の原因となります。</p>
<p>濡れ手禁止 濡れた手で設置・取り外し作業・操作をしない。感電の原因となります。</p>	<p>強制 設置および取り外し作業を行なう前に、測定箇所電源を切っておく。感電の原因となります。</p>
<p>強制 配線後は端子台にはカバーを取り付ける。感電・火災の原因となります。</p>	<p>強制 本製品の設置・取り外し作業の実施については、電気工事などの専門の技術を有する人が行う。誤った工事は感電・火災・故障の原因となります。</p>

【注1】 取扱説明書は、下記 URL よりダウンロードまたはご購入先までご連絡をお願いします。
 URL: http://www.t2ms.co.jp/product/market/p_m09.htm

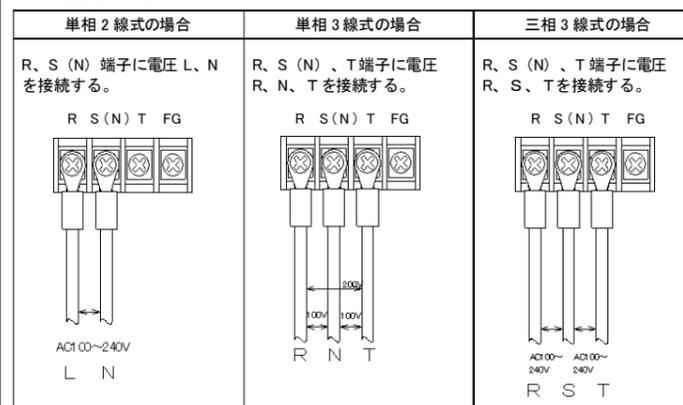
取扱い上のお願

- 本装置の故障や性能低下を防ぐため、次のような場所への設置はしないでください。
- 周囲温度が-10～50℃の範囲を超える場所
 - 日中平均温度が35℃を超える場所
 - 周囲湿度が25～85%RHの範囲を超える場所
 - 直射日光があたる場所
 - 強い磁界、電界が発生する場所
 - 振動、衝撃がある場所
 - ほこり、腐食性ガスがある場所
 - 過電流が流れる可能性がある場所

本体ユニットの配線について

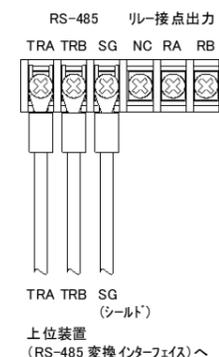
電源線の接続

電源線を接続するときは、電源端子台に付属している透明保護カバーを取外して作業してください。配線作業終了後は、透明保護カバーを必ず取付けてください。*1
 推奨電源線……………VVF-1.25mm²
 圧着端子……………M4のネジに適合する圧着端子
 推奨締付トルク……………1.2 N・m



RS-485ラインの接続

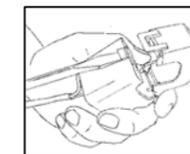
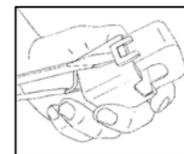
TRA、TRB、(SG)端子に上位装置からのRS-485 伝送線を接続します。*1
 推奨電源線……………CPEVS-0.9φ-3P
 推奨圧着端子……………M3のネジに適合する圧着端子
 推奨締付トルク……………0.5 N・m



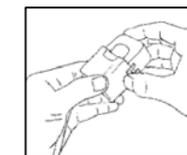
*1: 結線の詳細については取扱説明書をご参照ください。

CT付ケーブル 安全上のご注意

- 電流センサのクランプの開け方
 CT付ケーブルの電流センサのクランプを開く時にはドライバー等を用いて開けてください。(対象機種:KK24B-600以外)
 1. 下図のようにマイナスドライバーの先端を電流センサのツメ部分に差し込みます。 2. 右下図のようにマイナスドライバーでツメ部分を持ち上げるとクランプが開きます。なおツメ部分を強く持ち上げると電流センサが破損しますので、ご注意ください。



- 右図のように、指先で電流センサのクランプのツメ部分を持ち上げないでください。傷害を負う可能性があります。

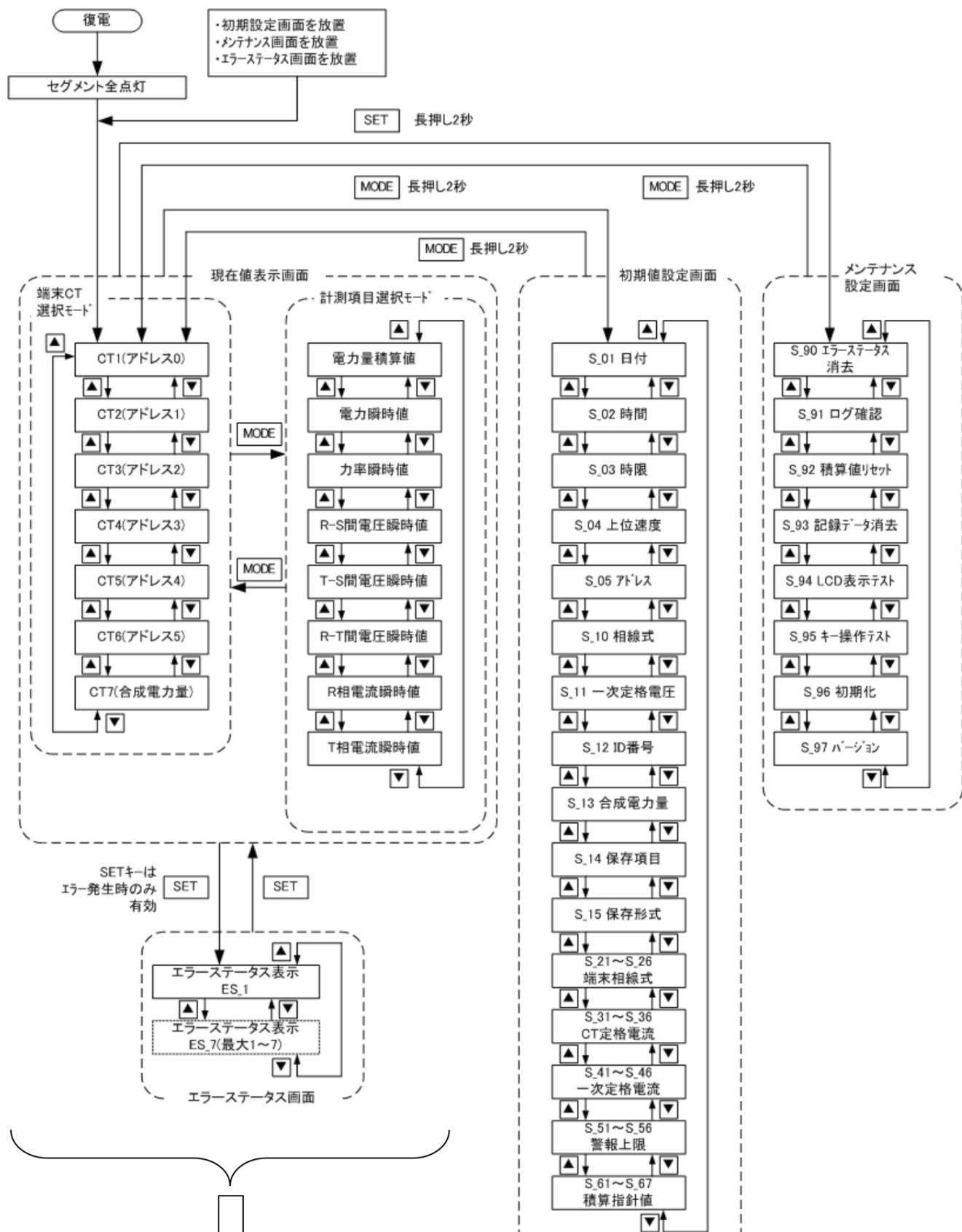


- 取り扱いについて
 CT付ケーブルを取り扱う時には電流センサを持ってください。計測ユニット本体部を持って電流センサをぶら下げると電流センサの重みで計測ユニットを破損する可能性があります。

- 接続ケーブルや電流センサのケーブルをむやみにねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブル類や接続箇所にかかり、断線や接続が外れるなどで、感電や火災および測定不良の原因となります。また、CT付ケーブルを破損する可能性があります。

多回路電力レコーダ 本体ユニット KK20A 画面遷移マップ

画面遷移マップ



詳細は右図「現在値表示画面遷移マップ」を参照してください。

現在値表示画面遷移マップ

